

委託業務特記仕様書

五條市斎場火葬等業務委託仕様書の業務内容を補完するために、委託業務として発注している各種委託業務の仕様書について記載する。

1. 消防用設備等法定点検業務委託

消防法第17条の規定する消防用設備等を設置する施設において、同法第17条3の3の規定による消防用設備等の保守点検を行うことにより故障・不具合を防止し、災害時に支障がない状態を維持すること。

①点検実施回数と時期

機器点検 年1回

機器総合点検 年1回

②消防施設設備等の明細

設 備 明 細	数 量	設 備 明 細	数 量
・ 自動火災報知設備		・ 屋内消火栓設備	
受信機（複合）50L	1	消火栓箱 （ホースノズル共）	5
・ 差動式分布型感知器		制御盤	1
差動式スポット型感知器	8	起動押ボタン	5
定温式スポット型感知器	25	表示灯	5
煙感知器	78	加圧式送水装置	1
発信機	5	・ 誘導灯	
・ 電鈴		避難口誘導灯 （C 級 16BL 級 6）	
・ 表示灯	5	誘導標識板	
・ 常用電源		・ 消火器具	
予備電源 （受信機内蔵 3, 5AH）	1	粉末消火器 （ABC-10 型）	19

・副受信機		泡消火器	
・煙感知器 遠隔対応	4	・非常用電源設備	
・遠隔試験中継器	2	自家発電設備 (450 k w)	1
受信機		・防排煙制御設備	
音響装置		ダンパー	13
交流器		防火シャッター	4
電源設備		光電式煙感知器	19
・非常警報器具（放送）設備			
受信機（10局 240W）	1		
音響設備（スピーカー）	42		
遠隔操作部			
発信機（押ボタン）			
常用電源			
予備電源 （受信機内蔵 6AH）	1		

2. 清掃業務委託

下記場所の年4回の清掃業務を実施すること。

①床

石材洗浄作業

エントランス、待合ロビー、収骨ホール、収骨室、告別室

面積 1, 350 m²

石材洗浄ワックス塗布

炉前ホール（御影石の黒い部分） 166 m²

床面洗浄ワックス塗布

炉室 176 m²

②ガラス清掃

正面玄関ガラス一面、エントランス、待合ロビー、収骨室、事務室、

休憩室

3. 宿直業務委託

勤務時間は通夜がある日の午後５時１５分から翌日の午前８時３０分とし、１名勤務させること。

①業務内容

- (1) ロウソクや線香及びタバコ等の火気の点検
- (2) 盗難防止や火災予防のための場内外の巡視
- (3) 斎場への入退者の監視
- (4) 斎場への問合せに対する対応
- (5) 郵便物（弔電）等の收受
- (6) その他、宿直業務に関する事項及び本市が指示する事項

②業務遂行時における注意事項

- (1) 従事者の制服は、受託業者の負担とし、常に清潔かつ端正でなければならない。
- (2) 従事者は、みだりに職場を離れたり、遅刻早退あるいは無断欠勤をしてはならない。
- (3) 従事者は、態度の厳正をまもり、言動を慎み、本市の品位を傷つけ又は不名誉となるような行為をしてはならない。
- (4) 従事者が第３者により障害等を受けた場合は、本市は一切の責任を負わないものとする。
- (5) 受託業者が本契約による業務の実施にあたって使用する電力・水道・ガス等については、極力節電し、効率的に使用しなければならない。
- (6) １日の業務を終えた従事者は、警備日誌に所要事項を記入の上、翌日に本市職員へ提出しなければならない。
- (7) 事故発生時については、直ちに必要に応じて警察・消防・保健所等関係機関、緊急連絡担当者に連絡し、場合により応援を要請すること。緊急連絡の必要を認めない事項については、その都度処置をとり、細部は宿直業務日誌等書類に記録し、本市に報告・提出するものとする。
- (8) この書類に定める業務以外に生じた事項については本市・受託業者協議の上、決定することとする。

4. 機械警備業務委託

通夜がない場合の閉場時は機械警備とする。

①警備内容

火災及び不法侵入の遠方監視システムにより斎場を警備対象とし、機械警備時間中は受信装置を常に監視すると共に、異常事態に備える。

②警備時間

終日、機械警備が開始される時間から全ての機械警備が解除される時間まで。但し、火災監視は24時間終日監視とする。

③設備の設置及び撤去

- (1) 機械警備に必要な設備の設置、管理及び撤去は、受託業者の責任とする。また、費用負担においても受託者とする。
- (2) 機械の機能について、受託業者は常に作動するように点検を行うものとし、その状況を本市に報告するものとする。

④警備装置等

- (1) 機械警備は、全館同時に警備開始・解除でき管理すること。
- (2) 警備開始、解除操作者の氏名及び時間を管理センターにて確認し記録すること。
- (3) 防犯センターの発報状況を監視センターで個々に監視できること。
- (4) 自動火災報知器から火災信号と非火災信号をそれぞれ移報し、監視すること。

⑤警備実施計画書の提出

受託業者は、警備業務の実施について本市職員と十分打ち合わせの上、下記の事項に関する警備実施計画書を作成し、本市へ提出すること。

- (1) 警備システムの種類及び機能
- (2) 斎場への到達時間

緊急出動する警備員については、警備対象に警備業法に定める時間内に駆け付けることができる待機所（警備業法第11条の7に定めている待機所をいう。）に待機していることが条件であること。

⑥業務遂行上の注意事項

- (1) 緊急時には、受託業者は速やかに警備員を警備対象へ急行させ、必要に応じて関係機関にも緊急出動の要請を行うこと。
- (2) 警備対象物に到着した警備員は、異常事態を確認後、被害拡大防止に努めること。

⑦警備実施状況の記録と保管

- (1) 受託業者は、警備の実施状況を記録し、保管する。
- (2) 受託業者は、警備の実施状況を月毎に取りまとめて、書面により本市へ提出すること。

⑧事故報告書の提出

- (1) 警備実施時間中に事故が発生したときは、受託業者は速やかに事故報告書を取りまとめ、書面により本市に提出すること。

5. 自家用電気工作物保安管理業務委託

電気事業法施行規則第52条の2に定める要件に適合するとともに、保安管理業務を誠実にを行うものとする。

①設備容量

- (1) 需要設備
 - ・ 受電設備総容量及び電圧
800kVA 6.6kV
 - ・ 非常用予備発電設備定格容量
350kVA
- (2) 手数料算定容量
800kVA

②業務内容

- (1) 月次点検（隔月1回）
- (2) 年次点検（1回）
- (3) 保安管理業務
- (4) 電話回線による低圧電路の絶縁状態等の常時監視業務

6. 斎場空調設備保守点検業務委託

五條市斎場に設置されている、空調設備の保守点検業務の委託に関し、その適正を期するために必要な事項を定めたものである。保守点検については本仕様書に基づき機器の性能が最良の状態に保たれるよう行うこと。

①保守点検の概要

- (1) 別紙「保守点検作業仕様書」に基づき保守点検を行うものとする。
- (2) 冷房、暖房の切替作業も本契約に含まれるものとする。

- (3) フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（フロン排出抑制法）に基づく点検業務を契約期間中に3か月に1回以上行うこと。

②設備の概要

(1) 中央式空調設備

- ア 灯油焚吸収式冷温水発生機 1台（年4回点検）
屋内設置型
冷房能力 246.0KW
暖房能力 295.0KW
- イ 冷却塔 1基（年2回）
開放型
冷却能力 439.2KW
- ウ 冷却水ポンプ 1台（年2回点検）
80mm×65mm×1067ℓ/min×30m×11.0KW
- エ 冷温水ポンプ 1台（年4回点検）
65mm×50mm×642ℓ/min×30m×7.5KW
- オ 膨張タンク 1基（年2回点検）
開放型 SUS444 製
1000×1500×1000H
- カ オイルサービスタンク 1基（年2回点検）
鋼板製 100ℓ
- キ 空調機 1台（年2回点検）
床置型
冷却能力 175.0KW
加熱能力 227.0KW
- ク 排気ファンユニット 1台（年2回点検）
床置型
4700m³/h×530pa×1.5KW
- ケ 排気ファン 2台（年2回点検）
シロッコファン #2～#3
- コ 給気ファン 1台（年2回点検）
シロッコファン #2

(2) ビルマルチ式空調設備

- ア 空冷ヒートポンプパッケージエアコン 1台（年2回点検）
天井カセット4方向型

	冷房能力	10.0KW
	暖房能力	11.2KW
イ	空冷ヒートポンプエアコン室外機	(年2回点検)
	・ビル用マルチ	1台
	冷房能力	96.0KW
	暖房能力	108.0KW
	・ビル用マルチ(氷蓄熱)	1台
	冷房能力	45.0KW
	暖房能力	35.5KW
	・ビル用マルチ	1台
	冷房能力	10.0KW
	暖房能力	11.2KW
	・ビル用マルチ(冷房専用)	1台
	冷房能力	28.0KW
(3)	空冷ヒートポンプエアコン室内機	(年2回点検)
ア	天井隠蔽型	2台
	冷房能力	4.5KW
	暖房能力	5.0KW
イ	天井隠蔽型	3台
	冷房能力	9.0KW
	暖房能力	10.0KW
ウ	天井隠蔽型	4台
	冷房能力	22.4KW
	暖房能力	25.0KW
エ	天井隠蔽型(冷房専用)	1台
	冷房能力	28.0KW
オ	天井カセット2方向型	2台
	冷房能力	3.6KW
	暖房能力	4.0KW
カ	天井カセット2方向型	1台
	冷房能力	7.1KW
	暖房能力	8.0KW
キ	天井カセット4方向型	1台
	冷房能力	5.6KW
	暖房能力	6.3KW
ク	天井カセット4方向型	1台

冷房能力	7. 1KW
暖房能力	8. 0KW

(4)全熱交換器（年2回点検）

- ア 天井カセット型 4台
170m³/h～340m³/h
- イ 天井隠蔽型 9台
470m³/h～700m³/h

(5)炉室換気設備

- ア 排気ファン（年2回点検）
軸流ファン 8台
600mm～850mm
- イ 給気ファン（年2回点検）
軸流ファン 1台
700mm

(6)点検用仮設足場 1式（年2回）

③点検報告書の提出について

保守点検を行った結果を、点検毎に点検報告書として提出すること。

④損害賠償

保守点検業務を実施するにあたり、故意又は過失により、本市又は第3者に

損害を与えた場合は、その損害を賠償する義務を負うものとする。

7. 地下タンク等定期点検業務委託

消防法第17条の規定する消防用設備等を設置する施設において、同法第14条3の2の規定による点検を委託するにあたり、受託者が実施すべき必要事項を定める。

①対象設備

地下タンク及び炉までの油路配管

②点検実施時期

委託契約期間内において、危険物の規制に関する規則第62条の4の規定に定める通り実施するものとする。

8. 雨水ろ過装置等保守点検業務

五條市斎場に設置されている、雨水ろ過装置等の保守点検業務の委託に関し、その適正を期するために必要な事項を定めたものである。

保守点検業務については、本仕様書に基づき雨水ろ過装置等の性能を維持し、最良の状態を確保することを目的とする。

①設備の概要

・雨水ろ過系統ろ過装置 1系統

対象機器

ろ過装置	1基
ろ過ポンプ	1台
逆洗ポンプ	1台
ヘヤーキャッチャー	1台
水位計	3台
自動補給水装置	1台
薬注装置	1台
制御盤	1面

・屋内光庭系統ろ過装置 2系統

対象機器

ろ過装置	2基
ろ過ポンプ	2台
ヘヤーキャッチャー	2台
薬注装置	2台

・屋外水盤系統ろ過装置・1系統

対象機器

ろ過装置	1基
ヘヤーキャッチャー	1台
薬注装置	1台

②業務内容

- ア 各種機械設備の点検整備に関すること。
- イ その他必要と認められる立会い、点検及び修理等に関すること。

③保守点検回数

- ア 2回（実施時期については協議する。）

④保全管理業務の実施

- ア 保全管理業務は、別紙に定める「保守点検作業仕様書」により行うこと。
- イ 上記「保守点検作業仕様書」に定めがなくても、保全管理業務上必要な業務については誠意を持って行うこと。
- ウ 受託業者は、業務計画書を作成し、これを事前に本市に提出し、承諾を受けること。
- エ 業務の結果、異常を発見した場合は、直ちに適切な処置を行い、障害発生を未然に防止し、本市にその結果を報告すること。また、障害が発生した場合は、直ちに適切な処置を行ったうえで、その障害の状況を本市に報告すること。
- オ 業務実施日以外の日において、本市が急遽異常を発見し、直ちに適切な処置を行わないと障害発生を防止できない場合、又は、すでに障害が発生していて、直ちにその障害を取り除かなければならない場合で、本市が業務従事者を直ちに招集するため受託業者に連絡したときは、受託業者は遅滞なく業務従事者を派遣させること。
- カ 業務の結果、修理を要すると認めたときは、その都度遅滞なく本市に報告すること。
- キ 保全管理業務に必要な工具、計測機器等の機材は、設備機器に付属して設置されているものを除き受託業者の負担とする。また光熱水費は本市の負担とし、点検・調整に必要な消耗品・材料等は、受託業者の負担とする。
- ク 点検整備業務終了後、点検結果を速やかに報告すること。

9. シャッターの保守点検管理業務

①保守管理業務の対象範囲

- ・ 自動扉開閉装置 駆動部（ドアエンジン・プーリ・連結ベルト）
- ・ 自動扉開閉装置 懸架部（ドアハンガ・ハンガレール）
- ・ 自動扉開閉装置 制御部（コントローラ・配線モジュール）
- ・ 自動扉開閉装置 検出部（起動センサ・補助光電センサ）
- ・ 自動扉開閉装置 その他（電気錠・オプション品）

②保守管理業務の対象外範囲

- ・ 建具類（ガラス・サッシ・振れ止め・ガイドレール類・鍵錠など）
対象範囲に起因しない作業に伴う扉脱着作業費など
- ・ 連動設備類（テンキー・キースイッチ・集合インターホン・非常開放ス

イッチなど)

受託業者が納入・施工しない連動設備類

③保守管理業務の内容

ア 定期保守点検

- ・「別紙」の点検予定に基づき定期的に技術員を派遣し、機器の点検を行い、予防保全に努める。
- ・作業は、自動ドア施工技能士（厚生労働省認定）の資格を有する者自ら行うか、作業者を指導して行なうものとする。
- ・点検項目及び判定基準は、自動ドア保守基準（JADA A 0003 全国自動ドア協会）、自動ドア安全ガイドライン（JADA B 0005 全国自動ドア協会）及びナブコ自動ドア点検基準書（ナブテスコ株式会社住環境カンパニー）に基づくものとする。

④定期点検整備項目

ア 作動履歴の確認（累計開閉回数、サーマル作動回数、セーフティ発生回数）

イ 自己診断エラーの確認（無負荷エラー、サーマル作動、モータエラー、エンコーダエラー、断線エラー、連続セーフティエラー、内部RAM/ROM/EEPROMエラー、センサー入力エラー、センサ不具合エラー、電気錠作動エラー、NET通信エラー、NET機器接続エラー）

ウ 各種設定の確認（開き速度、閉じ速度、開放タイマ、各種トルク、クッション速度及び距離、開閉セーフティ感度）

エ サッシ部点検（無目点検カバー取付状態、ガイドレール内の状態、扉の状態、振れ止め・扉ガイドの取付状態、指はさみ防止対策、各部適正隙間確認）

オ 懸架部点検（ハンガレール、吊車の汚れ・磨耗・損傷、踊り止めの隙間、ストッパ・ハンガレール・吊車の取付状態）

カ 動力作動部点検（手動開閉動作及び異音の有無、エンジンの取付状態、駆動軸の変形・磨耗、プーリの変形・磨耗、ベルト・チェーン・ワイヤの張り・磨耗及び取付状態）

キ 制御装置点検（開速度、閉速度、クッション作用、開き保持時間）

ク センサ部点検（センサ検出範囲及び感度、補助センサ作動状況）

ケ 電気回路（総合動作（通常動作・反転動作）、配線の支持・接続状態及び被覆の亀裂有無）

コ 電気錠（電気錠の作動確認）

サ その他（自動ドアステッカー・警告ラベル、故障時連絡先シール）

⑥緊急修理

- ・定期点検以外で、故障が発生した旨の通知を受けた場合は、直ちに技術員を派遣し、調整または修理を行うものとする。その際の技術料及び諸経費は受託業者の負担とする。又、契約に定める通常業務時間外でも、修理の依頼については受付ができ且つ必要に応じて技術員を派遣できるものとし、その際の派遣費用は本市の負担とする。

⑦保守部品

- ・点検又は修理において、別途部品交換を必要とする箇所を発見した時は直ちに報告し、対応を協議するものとする。交換部品に関しては、保証の観点からナブコ自動ドア純正部品（新品）を使用するものとする。
- ・別紙記載の装置の保守部品が製造中止となり、保守部品供給期間を超過して機能維持管理が不可能となった場合、後継機種へ更新するものとする。
- ・受託業者は、別紙記載のナブテスコ(株)製装置の保守部品供給に関する情報は、本市に対し速やかに通知するものとする。

⑧記録および報告

ア 記録（保管）

- ・保守点検担当者は、点検実施日・設置場所・点検機種名・点検内容の保守点検結果ならびに修理を必要とした場合の措置内容を「自動ドア点検報告書」に記入する。
- ・センサの各設定（検知エリア範囲等）及びコントローラのパラメータ設定値を変更した場合は、必ず建物管理責任者に報告し、承認を受けた後、「自動ドア点検報告書」に記録するものとする。
- ・「自動ドア点検報告書」の保管期間は、１０年とする。
（PL 法第５条に準じるものとする。）

イ 報告

- ・点検（または修理）の結果を「自動ドア点検報告書」（修理作業報告書）に記入し、速やかに建物管理責任者に報告するものとする。
- ・点検結果に従って修理措置を行う場合は、建物管理責任者の承認を受けるものとし、作業終了後に改めて建物管理責任者に報告し、修理作業完了の承認を受けるものとする。

10. シャッター保守点検管理業務

①受託者は本仕様書に従い、点検を実施する。点検に必要な機器・工具・消耗品（電池等を含む）は受託者が準備する。

②点検の範囲は、点検のほかに注油・ねじ類の増締、上限・下限停止位置の調整までとする。

③点検は、(社)日本シャッター・ドア協会認定の保守点検専門技術者が行なう。

④点検の内容は以下の通りとする。

種 別		点 検 項 目	点 検 内 容
シ ャ タ ー	外 観	1. 点検口の状態	点検口の有無、取付け位置、開閉操作
		2. 降下位置障害	障害物の有無、シャッター芯と物品との距離
		3. 操作障害	押しボタンスイッチの取付け位置、随時閉鎖装置の取付け位置
		4. 警告表示・操作説明ラベル貼付	警告表示・操作説明ラベルの有無、汚損、損傷
		5. 標識（危険・注意・降下位置表示）	ペイント・シール表示の有無
	機 能	6. 開閉機	油漏れ、錆、腐食、異常音、異常過熱、固定ボルト
		7. ブレーキ装置	中間停止、異常音、異常過熱
		8. 手動装置	設置位置、操作方法の表示、操作状態、巻上げ操作状況
		9. スプロケット・ローラーチェーン	芯ずれ、変形・汚損、セットボルト、摩耗、錆、ジョイント、たるみ状態
		10. ロープ車・ワイヤロープ	変形
		11. 巻取りシャフト・ブラケット	曲損、片寄り、カラー、軸受の取合い、変形・損傷、固定ボルト、軸受の回転状態、溶接はがれ
		12. 急降下停止装置	変形・損傷
		13. スラット・吊元	変形・損傷、片寄り、片下がり、端金物、吊

			元ボルト
		14. 座板	変形・損傷、座板ねじ、錆、腐食
		15. ケース・まぐさ・押し車	変形・損傷・押し車の取付状態、回転状態
		16. ガイドレール	変形・損傷、錆、のみ口の状態
		17. 制御盤	損傷、接続端子のゆるみ
		18. リミットスイッチ・エマージェンシースイッチ	変形・損傷、チェーンの張り具合、スプロケットの芯ずれ
		19. 押しボタンスイッチ	蓋・施錠の良否、接続端子のゆるみ、取付け環境
		20. ヒューズ装置	変形・損傷、錆、スプリング、ヒューズメタル、作動状態
		21. 手動閉鎖装置	変形・損傷、閉鎖確認、ワイヤ、操作ラベル
		22. 自動閉鎖装置	変形・損傷、錆、作動確認、固定ボルト
		23. 連動制御器・バッテリー	取付け位置、変形・損傷、バッテリーチェック
		24. 絶縁抵抗	電動機の主回路、制御回路、信号回路
		25. 遮煙装置（材）	硬化、切損、接触状況
		26. 降下状況	電動・手動操作、随時閉鎖、異常音、下限停止位置
		27. 降下速度	閉鎖速度
		28. 障害物感知装置	変形・損傷、作動確認・電池交換
		29. 危害防止用連動中継器	変形・損傷、蓄電池の期限・容量
		30. 巻上状況	電動・手動操作、異常音、上限停止位置
		31. 音響装置及び音声発生装置	変形・損傷、作動確認
		32. 注意灯	変形・損傷、作動確認
ドア・パネル	外観・機能	33. 周囲の状況	障害物の有無
		34. 枠・扉の変形損傷	変形・損傷、油漏れ、閉鎖力
		35. ヒンジ・ドアクローザーの状況	変形・損傷、油漏れ、閉鎖力
		36. 順位調整器	変形・損傷、閉鎖順序の制御
		37. 召し合わせ	両扉の隙間
		38. 把手・錠	変形・損傷、施錠・開錠の確認

	39. 自動閉鎖装置・再ロック機構	変形・損傷、錆、吸着力、発熱、唸り音、作動確認
--	-------------------	-------------------------

注). 設備機器方式・構成・設置方法により、該当しない項目があります。

1 1. 剪定等業務委託

斎場の剪定等業務の委託に関し、その適正を期するために必要な事項を定めたものである。業務については、本仕様書に基づき実施するものとする。

①業務内容

ア 斎場敷地内

剪定 年 1 回

施肥 年 1 回

樹木等消毒 年 1 回

(* 消毒液は、スミチオンまたは 同等品以上)

イ 北側駐車場周辺

樹木消毒 (桜外 計 8 本) 年 1 回

(* 消毒液は、スミチオンまたは 同等品以上)

ウ 南側駐車場

樹木消毒 (桜外 計 7 本) 年 1 回

(* 消毒液は、スミチオンまたは 同等品以上)

エ 剪定の枝木の運搬・処分

受託業者は、作業完了後、遅滞なく報告書を本市に提出すること。

12. 火葬炉施設設備の保守点検

・日常点検（日常点検とは操業前・操業後に行う点検であり、操業に支障のないように保守を行うこと。）

No.	項 目	数量	日常点検	内 容
1	火葬炉耐火物	4 炉	目視での異常の有無の確認	目視でのセラミックウール・耐火煉瓦の破損・脱落の有無の確認
2	火葬炉覗き窓用ガラス	4 炉	目視での異常の有無の確認	曇り具合、亀裂・損傷の有無の確認
3	動物炉耐火物	1 炉	目視での異常の有無の確認	目視でのセラミックウール・耐火煉瓦の破損・脱落の有無の確認
4	棺台車 （火葬炉及び動物炉）	火葬炉 4 台 動物炉 1 台	目視での異常の有無の確認	車輪の摩耗、本体（ケーシング）の歪み・耐火物破損の有無の確認
5	棺台車装入装出装置	火葬炉 4 炉	目視・操作での異常の有無の確認	運行時の各リミットスイッチの状態確認 駆動用チェーンの状態確認 異音の有無の確認
6	棺運搬台車	2 台	目視・操作での異常の有無の確認	車輪の摩耗、走行状態の確認 油圧ユニット（昇降装置）の状態確認
7	収骨台車	2 台	目視・操作での異常の有無の確認	車輪の摩耗、走行状態の確認 ストッパーの状態確認 駆動用モーター及びチェーンの状態確認
8	動物炉収骨用台	1 台	目視での異常の有無の確認	車輪の摩耗、台の歪みの有無等の状態確認

9	収骨時の移動式骨つぼ受け台	4 台	目視での異常の有無の確認	車輪の摩耗、受け台の歪みの有無等の状態確認
10	誘引ファン	火葬炉 2 基 動物炉 1 基	目視・操作での異常の有無の確認	V ベルトの張り具合、摩耗・振動・騒音の状態確認
11	排ガス冷却ファン	火葬炉 2 基 動物炉 1 基	目視・操作での異常の有無の確認	V ベルトの張り具合、摩耗の状態確認
12	残骨掃除用真空配管	火葬炉 4 炉	目視・操作での異常の有無の確認	配管の漏れ、引き圧の状態確認
13	飛灰掃除用真空配管	火葬炉 2 基	目視・操作での異常の有無の確認	配管の漏れ、引き圧の状態確認
14	火の粉防止用金網	火葬炉 2 基	目視での異常の有無の確認	金網の詰まり状態確認
15	連絡ダクト	火葬炉 2 基	目視での異常の有無の確認	ダクト内の目視点検及び内部清掃
16	火葬炉・再燃炉バーナー (火葬炉及び動物炉)	火葬炉 4 台 動物炉 1 台	目視・操作での異常の有無の確認	各装置の状態確認
17	熱交換器	火葬炉 2 基 動物炉 1 基	操作での異常の有無の確認	運転時の詰まりの有無の確認 (差圧による確認)
18	バグフィルター	火葬炉 2 基 動物炉 1 基	目視での異常の有無の確認	詰まりの有無の確認
19	触媒装置	火葬炉 2 基	目視での異常の有無の確認	詰まりの有無の確認
20	操作盤 (炉制御盤)	火葬炉 7 面 動物炉 1 面	目視での異常の有無の確認及び動作確認	表示灯の点灯確認 通常使用するスイッチ類の動作確認

21	空気圧縮機（コンプレッサー）	火葬炉 1 基 動物炉 1 基	制御盤での異常の有無の目視確認 目視での異常の有無の確認	制御盤での異常の有無の目視確認 Vベルトの張り具合、摩耗の状態確認
----	----------------	--------------------	---------------------------------	--------------------------------------

・定期点検（日常点検の内容を含め詳細な点検を行い、操業に支障のないように保守を行うこと。）

No.	項 目	数 量	定期点検		
			内 容	点検周期	点検時期
1	火葬炉耐火物	4 炉	目視でのセラミック ウール・耐火煉瓦の 破損・脱落の有無の 確認 日常点検では確認し づらい部分までの耐 火煉瓦等の確認 堆積灰の除去	3 か月毎	4 月、7 月、 10 月、1 月
2	動物炉耐火物	1 炉	目視でのセラミック ウール・耐火煉瓦の 破損・脱落の有無の 確認 日常点検では確認し づらい部分までの耐 火煉瓦等の確認 堆積灰の除去	3 か月毎	4 月、7 月、 10 月、1 月
3	棺台車 （火葬炉 及び動物 炉）	火葬炉 4 台 動物炉 1 台	車輪の摩耗の確認及 び調整 本体（ケーシング） の歪み等の確認と修 正 耐火物破損の有無の 確認	4 か月毎	6 月、10 月、 2 月
4	棺台車装 入装出装 置	火葬炉 4 炉	運行時の各リミット スイッチの状態確認 及び調整 駆動用チェーンの状 態確認及び調整	4 か月毎	6 月、10 月、 2 月

5	棺運搬台車	2 台	車輪の摩耗、走行状態の確認及び調整 油圧ユニット（昇降装置）の状態確認及び調整	4 か月毎	6 月、10 月、2 月
6	収骨台車	2 台	車輪の摩耗、走行状態の確認及び調整 ストッパーの状態確認及び調整 駆動用モーター及びチェーンの状態確認及び調整	4 か月毎	6 月、10 月、2 月
7	誘引ファン	火葬炉 2 基 動物炉 1 基	V ベルトの張り具合、摩耗・振動・騒音の状態確認及び調整	4 か月毎	6 月、10 月、2 月
8	排ガス冷却ファン	火葬炉 2 基 動物炉 1 基	V ベルトの張り具合、摩耗の状態確認及び調整	4 か月毎	6 月、10 月、2 月
9	残骨掃除用真空配管	火葬炉 4 炉	配管の漏れ、引き圧の状態確認 損傷があれば修繕	4 か月毎	6 月、10 月、2 月
10	飛灰掃除用真空配管	火葬炉 2 基	配管の漏れ、引き圧の状態確認 損傷があれば修繕	4 か月毎	6 月、10 月、2 月

11	火の粉防 止用金網	火葬炉 2 基	金網の詰まり状態確 認及び除去等	6 か月毎	4 月、10 月
12	連絡ダク ト	火葬炉 2 基	ダクト内の目視点検 及び内部清掃 損傷があれば修繕	6 か月毎	4 月、10 月
13	火葬炉・ 再燃炉バ ーナー (火葬炉 及び動物 炉)	火葬炉 4 台 動物炉 1 台	運転時の各装置の状 態確認及び調整 炎口部に付着したカ ーボン、煤等の除 去・清掃	4 か月毎	6 月、10 月、 2 月
14	熱交換器	火葬炉 2 基 動物炉 1 基	運転時の詰まりの有 無の確認(差圧による 確認)	6 か月毎	4 月、10 月
15	バグフィ ルター	火葬炉 2 基 動物炉 1 基	運転時の詰まりの有 無の確認(差圧による 確認) 点検口からの目視で の確認	6 か月毎	4 月、10 月
16	触媒装置	火葬炉 2 基	運転時の詰まりの有 無の確認(差圧による 確認) 本体の目視確認	6 か月毎	4 月、10 月
17	操作盤 (炉制御 盤)	火葬炉 7 面 動物炉 1 面	表示灯の点灯確認 通常使用するスイッ チ類の動作確認 端子等の変色、加 熱、変形の有無の確	6 か月毎	4 月、10 月

			認 機器の異常がある場 合には交換		
18	空気圧縮 機（コン プレッサ ー）	火葬炉 1 基 動物炉 1 基	本体の異常の有無の 目視確認 圧力の異常、異音の 有無の点検及び調整 外気吸込フィルター の清掃 V ベルトの張り具 合、摩耗の状態確認 及び調整	6 か月毎	4 月、1 0 月